

事業者における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 8年 3月 2日

事業所名 放課後等デイサービス 花園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		引き続き、利用者が低年齢化したのでスペースは広くなりましたが、走り回ることがあるので気を付けて対応しています。	転倒時のケガを防ぐためにクッションマットをフロアに敷き詰めています。 クッションシートは利用者の活動強度によってすぐに古くなるので、定期的に買い替えを行っております。
	②	職員の配置数は適切である	○		職員の経験値が上がって来ているため、支援の幅が広がってきました。	引き続き、職員の状態にも気を付けながら、気持ち良く働いてもらえるように皆で協力して行きます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		利用者の状態に合わせ、臨機応変に事業所内の物品配置を変えています。	建物入口が雨天時に滑りやすくなるため、こまめな声掛け、滑り注意の文言をビル管理者に入れてもらうなどして対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員間コミュニケーションを多く取るように心がけています。	利用者さん達が登所する前や降所した後に業務改善を進めるための話し合いを職員間で行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果を職員全員で確認し、共通意識をもって業務改善に努めています。	保護者向けのアンケート調査や日々のやり取りの中で得た情報を精査し支援方法の見直しを行っています。保護者の皆様の協力やお心遣いのお陰で日々の業務を安定して行えています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年3月中にHP上で公開しています。	事業所ホームページに毎年載せて毎年閲覧可能な状態にしていますが、引き続きそれに気付かれていない親御さんがいらっしゃる事が判明したので周知して参ります。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			障がい児療育に博識な方にコンサルティング業務委託を行い外部評価を受けています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			専門知識を持つ経験豊富な講師の先生にお願いし、研修を行っております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々、何が利用者さんにとって有益なのか、職員同士で話合っています。	ニーズや課題を客観的に分析しながらも、子ども達や保護者の皆様の心情にも寄り添えるような支援計画を作成するように心掛けています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業所側で用意したものなので完璧なツールとは言えません。ただ今後も必要時にアップデートしていけるように日々努めていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動計画は全て職員ミーティングをしながら立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々情報収集に努め、職員間でお話ししながら活動内容を考えています。	下校時間が早い日は公園に行ったり、お散歩することにより体を動かし、また図書館へ行き子ども達と一緒に好きな本を見たり、借りたりしています。長期休暇中は活動に飽き来ないようにならずにニューや趣向を変えた活動を取り入れ子ども達楽しく過ごせるように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者さん個々に目標を決め、活動に反映しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用者さんの障害特性や相性、その日の心理状況等を考慮しながら活動プランを立てています。	子ども達を取り巻く状況が個々に違いすぎ活動計画を立てて行くのが難しい現状がありますが、事業所としては子ども達皆が平等に楽しんでもらえるよう日々計画作成に時間を費やしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		上司、部下、関係なく職員同士で多くコミュニケーションを取るよう心がけています。	職員の組織編制を組み直し、職員間の情報共有がスムーズに行くように改善しました。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録の量が多く日誌作成は大変ですが、子ども達の支援が疎かにならないように、職員同士で協力し合い日誌を作成しています。また記録方法の改善や時間の調整も行いながら日誌作成と支援活動のバランスを取っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			事業所利用が少ない子達のサービス計画の作成が大変ですが、相談支援員や学校とも連携し合いサービス計画の見直しの必要性を判断し対応しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			ガイドラインと事業所自身の経験を掛け合わせながら、日々支援活動を行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員のスケジュール調整を上手く行いながら、担当者会議に最も適した職員を派遣しています。	担当者会議において参加人数が限られていることもあるので、情報共有をしっかりとるように心がけています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校の先生方がとても丁寧に対応してくださるので、事業所側としても失礼がないように丁寧な対応を心がけています。	親御さんの協力や学校の先生方のご尽力もあり子ども達が通うほとんどの学校とは良い関係性を構築させていただいています。引き続き学校ともしっかりと連携を取らせていただけるように努めます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			子ども達の主治医と直接お会いしてお話を聞くことはほとんどありませんが、必要がある場合は親御さんに間に入ってもらう連携体制を整えています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援員さんや各機関のコーディネーターの先生方と情報共有をしっかりと行っています。	各機関の皆様と連携を取らせていただきながら対応をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		学校の先生を介してケース会議や情報共有を行っており、事業所としてできる限りの協力をさせていただいています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		スケジュール調整を職員間で行いながら対応しています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			時間が取れず積極的に参加はしておりませんが、日々協議会のことは気にかけているので、時間の調整ができれば参加したいと思います。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を活用したり、送迎時の親御さんとの対応、面談等の機会を用意し共通理解に努めています。	共通意識をもって支援活動をおこなっているつもりですが、もっと保護者の皆さんとコミュニケーションをとれるようにしていきたいです。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	?		笑顔や挨拶をきちんと行い、相談しやすい雰囲気を作ろうと努力をしています。	ペアレントトレーニングが必要だと思われる、又は親御さんから助言をお願いされる時は誠心誠意対応させていただいています。
㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		親御さんや利用者さんの様子に気を配りながらゆっくり丁寧な心がけています。		
㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所の職員だけでは十分な解答ができない時は各機関に問い合わせたりしながら対応しています。	親御さんから相談を受けたり、助言をお願いされる時は誠心誠意対応させていただいています。	

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	前年度も保護者会の要望がありませんでした。	保護者会等に参加することが苦手な親御さんが多かったり、保護者会の時間を調整することが難しいことから、保護者会等を積極的に催していません。ただ親御さんから希望等あれば計画させていただきます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情等がでないように丁寧な説明と気配りを日々心がけています。	苦情があった場合はすぐに事業所内確認を行い、その後市の障害福祉課に連絡を入れ相談させて頂いています。子ども達に不利益が生じないように細心の注意を払いながら法令に則った対応を心がけています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な会報は発行していませんが、活動予定等は親御さん個々に直接お伝えしたり、その都度お知らせを配布したりして対応しています。
	③⑤	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには十分に気を付けていますが、仮に流失が認められた場合は細心の注意を払いながら速やかに対応いたします。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	利用者さんや保護者さん個々に合わせた情報伝達を行っています。	親御さんから情報伝達の方法や意思の疎通に対し不具合がある場合はいつでも施設長に相談して欲しい旨、お願いしております。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		町内会の活動に参加するなど努力はしていますが、事業所の広さ等を鑑みた時に地域住民を招待する等のイベントを行うのはかなり難しいので、引き続き何かできないか検討致します。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	面談時にマニュアルがしっかりあることを説明しています。	改善はされて来ましたが、まだマニュアル作成に関して保護者の皆様に対する説明がまだ不十分であったので引き続き対応を考えて保護者の皆様に周知していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	固定された状況ではなく、毎回違ったシチュエーションを用意して訓練を行っています。	火災、水災害、地震を想定した避難訓練を年に3回行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待行為に関して日々職員間で話を行っています。	虐待研修を事業所内で行うことにより、職員間で虐待に対する意識を統一し対応しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	子ども達がイライラを自分自身、他者、物に対しぶつける等した場合はやむを得ず行動を抑えることがあることを契約時、面接時等に説明し書面を交わしています。	今まで身体拘束が必要な子ども達がいたことがないので個別支援計画に記載はしていませんが、必要な時はしっかり親御さんに説明し、個別支援計画等にも記載します。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書を持っている利用者さんに関しては拝見させて頂き、それ以外の利用者さんに関しても親御さんと連携しながら対応をしています。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		どこまでがヒヤリハット事例として記録が必要なのか曖昧な部分があったので、職員間でしっかり意識統一して行きます。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。